

「なぜ今の会社に就職し、今のお仕事をされているのですか？」と聞かれたときに、あなたはどのようにお答えになりますか。会社や仕事の決定に影響を与えた人や

ナビゲーター

出来事は、あなたが意図的に作り出したものですか？ 実際には色々な偶然が重なって現在のお仕事に就かれたという方が多いのではないのでしょうか。実は私自身もその一人です。

◆ 8 ◆

人生 100年時代に向けたキャリア開発

その考え方と方法

「あの時、あそこへ出かけなかったら」「あの人にあそこで偶然会わなかったら」など、もともと自分の計画や予定にはなかった出会いや経験で、就職先や職業を決定した。これを「計画された偶然性(Planned Happenstance)」と言いますが、案外多いのではないのでしょうか。「偶然」というものは計画できませんので、この言葉は矛盾しているように思われるかもしれませんが、しかし、計画しても人は自分の思いどおりに進む

計画された偶然性

ものではなく、結構偶然に左右されてキャリアの方向が決まるということは、経験的に感じておられるのではないのでしょうか。

この理論を提唱したのはアメリカのスタンフォード大学のジョン・クランボルト博士です。その理論は①「予期せぬ出来事が、キャリアに影響を与える」。②「予期せぬ偶発的なできごとを上手に活用することによって、ただの偶発的なできごとでも自分のキャリア形成の力に変えていく

ことが出来る」。(それなら) ↓③「(その)予期せぬ出来事を、自ら創り出すことができるか」。これができるかどうかは一人一人の主体性、意識的努力によります。なぜなら、偶発的な出来事が起きるその前には、自分自身のさまざまな行動が存在しているからです。ただ単に「自分にとっていい偶然」が起こるのを伺もしないで待つのではなく、それが起こるような「布石」を打つことの重要性を述べているのです。

幸運は偶然ならず

クランボルト博士は、偶然をキャリアの機会に活用するスキルとして次の四つを挙げています。それは、①好奇心②冒険心③楽観性④持続性⑤柔軟性で、必要なのは、「ポジティブ思考」「積極的行動」「継続は力なり」の考え方、「徹底の必要性」とともに「発想の柔軟性」です。

くキャリアコンサルタント資格を付与していたJCDA(日本キャリア開発協会)の一般会員でもあります。JCDAがNCDA(全米キャリア開発協会)の主催する国際学会のツアーを企画したときに私は手を上げ、学会に参加したクランボルト博士に会うことができたのです。たまたまJCDAの会員であったことによる開催通知のメール(「偶然」)が、私に幸運をもたらしたといえます。

実は私は2003年にクランボルト博士にサンフランシスコの「ハイアット・リージエンシー」という高級ホテルでお会いしました。私自身、キャリアコンサルタント資格は「日本産業カウンセラー協会」で取得しましたが、同じ

【日本産業カウンセラー協会 会員・キャリアコンサルタント・社会保険労務士 杉本 和夫】

(火曜日掲載)

